



平成 24 年 12 月 13 日

各位

会社名 コマニー株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 幹雄
(コード番号 7945 名証第二部)
問合せ先 取締役管理統括本部長 塚本 健太
(TEL. 0761-21-1144)

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、海外における事業及びそれに関わる取引に関して、不適切な処理が行われたとの疑義が生じたため、平成 24 年 10 月 3 日に当社と利害関係の無い外部有識者のみによる第三者委員会を設置し調査を行い、平成 24 年 10 月 30 日に同委員会より調査報告書を受領しました。

この調査結果を受けて、当社は連結範囲の変更の要否、関連当事者との取引に係る記載の訂正の要否等を検討いたしました。また、これを契機に、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理及び当社の過去の決算における繰延税金資産の回収可能性等の会計処理について再度検討を行い、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 22 年 1 月 29 日付「平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

【訂正後】

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 名

上場会社名 コマニー株式会社

コード番号 7945 URL <http://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長 (氏名) 富樫 弘史

TEL 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,957	△11.6	△1,568	—	△1,466	—	△3,305	—
21年3月期第3四半期	19,178	—	△766	—	△948	—	△1,122	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△352.99	—
21年3月期第3四半期	△109.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,498	17,159	67.2	1,882.86
21年3月期	29,358	20,952	71.3	2,224.34

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,133百万円 21年3月期 20,927百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
22年3月期	—	13.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△5.5	△900	—	△900	—	△2,900	—	△309.73

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	9,924,075株	21年3月期	10,924,075株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	824,201株	21年3月期	1,515,458株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	9,362,929株	21年3月期第3四半期	10,240,257株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年来の世界的な金融危機が及ぼした混乱が根強く、住宅投資や設備投資に回復の兆しが見られず、依然として厳しい経済環境が続いております。

間仕切業界につきましては、想定を上回る市場の縮小、販売価格の競争激化等、極めて厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が低迷しており、地域間の需要格差も一層の広がりをみせております。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適応する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。しかし、建築工事の需要減少等による市場縮小や競争激化は想定以上に厳しく、売上高は前年同四半期と比べ22億20百万円減少の169億57百万円となりました。

品目別売上高につきましては、主要品目のハイパーティションが最も市場縮小の影響を受け、前年同四半期と比べ21億40百万円減少の85億31百万円となりました。一方、ドア製品については、前年同四半期と比べ3億78百万円増加の17億98百万円となりました。

損益面では、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少に伴う利益の減少を吸収できず、売上総利益率は30.6%(前年同四半期比3.6ポイント低下)となりました。営業損失は15億68百万円(前年同四半期は営業損失7億66百万円)、経常損失は14億66百万円(前年同四半期は経常損失9億48百万円)、四半期純損失は繰延税金資産の取崩し等により33億5百万円(前年同四半期は四半期純損失11億22百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ38億60百万円減少の254億98百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ20億85百万円減少の146億62百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5億88百万円、受取手形及び売掛金が15億7百万円減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ17億74百万円減少の108億35百万円となりました。これは主に、繰延税金資産の取崩し等によります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ13百万円減少の36億69百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比べ54百万円減少の46億68百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ37億92百万円減少の171億59百万円となりました。これは主に、利益剰余金が45億36百万円、自己株式が7億30百万円、それぞれ減少したこと等によります。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ4.1ポイント低下の67.2%となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は39億3百万円で、前連結会計年度末と比べ5億88百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は3億35百万円となりました。これは主に、減価償却費7億17百万円、売上債権の減少額15億4百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失14億75百万円、たな卸資産の増加額4億6百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は3億10百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入11億円による増加と、定期預金の預入による支出11億円、有形固定資産の取得による支出1億56百万円等による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は6億12百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億円、自己株式の取得による支出2億46百万円、配当金の支払額2億44百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、今後も厳しい経済状況が予測されますが、第4四半期の完工予定物件を計画通りに納め、受注活動も一層の努力を行うとともに、原価及び販売管理費等の削減に全社一丸となつて引き続き取り組んでいくことから、現段階において平成21年10月21日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,903,393	5,491,882
受取手形及び売掛金	7,120,410	8,628,125
有価証券	99,954	99,884
商品及び製品	1,269,670	890,317
仕掛品	132,951	112,090
原材料及び貯蔵品	647,233	642,453
繰延税金資産	176,202	368,986
その他	364,891	563,060
貸倒引当金	△52,338	△48,484
流動資産合計	14,662,368	16,748,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,867,701	3,012,879
機械装置及び運搬具(純額)	1,391,182	1,549,249
土地	3,389,463	3,389,463
その他(純額)	201,498	246,935
有形固定資産合計	7,849,846	8,198,528
無形固定資産		
その他	854,573	991,024
無形固定資産合計	854,573	991,024
投資その他の資産		
その他	2,159,285	3,448,628
貸倒引当金	△28,000	△28,000
投資その他の資産合計	2,131,285	3,420,628
固定資産合計	10,835,705	12,610,181
資産合計	25,498,074	29,358,498

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,463,562	1,659,162
短期借入金	404,200	300,000
未払法人税等	118,783	45,100
賞与引当金	220,249	414,200
役員賞与引当金	1,478	2,520
その他	1,461,295	1,262,337
流動負債合計	3,669,568	3,683,320
固定負債		
長期借入金	1,400,000	1,625,000
再評価に係る繰延税金負債	434,747	434,747
退職給付引当金	2,496,780	2,358,146
その他	336,982	304,650
固定負債合計	4,668,511	4,722,544
負債合計	8,338,079	8,405,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	3,421,181	7,957,459
自己株式	△750,724	△1,481,525
株主資本合計	17,204,638	21,010,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,099	20,370
土地再評価差額金	226,788	226,788
為替換算調整勘定	△335,716	△329,299
評価・換算差額等合計	△70,828	△82,141
少数株主持分	26,185	24,658
純資産合計	17,159,994	20,952,633
負債純資産合計	25,498,074	29,358,498

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,178,036	16,957,740
売上原価	12,609,924	11,763,590
売上総利益	6,568,112	5,194,149
販売費及び一般管理費	7,335,063	6,762,447
営業損失(△)	△766,951	△1,568,297
営業外収益		
受取利息	19,655	11,988
受取配当金	16,330	12,809
受取賃貸料	4,246	6,856
為替差益	—	11,505
デリバティブ評価益	—	99,538
その他	46,980	69,547
営業外収益合計	87,213	212,244
営業外費用		
支払利息	16,398	25,275
為替差損	6,372	—
売上割引	18,403	13,464
デリバティブ決済損	—	56,801
デリバティブ評価損	187,051	—
その他	40,505	15,034
営業外費用合計	268,731	110,575
経常損失(△)	△948,469	△1,466,627
特別損失		
固定資産除却損	7,068	8,994
投資有価証券評価損	158,452	185
特別損失合計	165,521	9,179
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,113,990	△1,475,807
法人税等	7,089	1,827,604
少数株主利益	1,031	1,638
四半期純損失(△)	△1,122,111	△3,305,049

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△1,113,990</u>	<u>△1,475,807</u>
減価償却費	<u>755,741</u>	<u>717,354</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	<u>△4,375</u>	<u>138,634</u>
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	<u>△46,600</u>	<u>—</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△439,857</u>	<u>△193,951</u>
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△6,940</u>	<u>△1,042</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>9,887</u>	<u>3,961</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△35,985</u>	<u>△24,797</u>
支払利息	<u>16,398</u>	<u>25,275</u>
有形固定資産除却損	<u>7,068</u>	<u>8,994</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>2,457,420</u>	<u>1,504,181</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△873,408</u>	<u>△406,100</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>△471,186</u>	<u>△194,501</u>
その他	<u>215,770</u>	<u>157,687</u>
小計	<u>469,942</u>	<u>259,889</u>
利息及び配当金の受取額	<u>34,890</u>	<u>24,183</u>
利息の支払額	<u>△14,619</u>	<u>△21,973</u>
法人税等の支払額	<u>△344,465</u>	<u>△154,709</u>
法人税等の還付額	<u>—</u>	<u>228,062</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>145,747</u>	<u>335,453</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	<u>△1,100,000</u>	<u>△1,100,000</u>
定期預金の払戻による収入	<u>1,100,000</u>	<u>1,100,000</u>
有形固定資産の取得による支出	<u>△143,985</u>	<u>△156,824</u>
有形固定資産の売却による収入	<u>—</u>	<u>283</u>
その他	<u>△274,563</u>	<u>△154,098</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△418,548</u>	<u>△310,639</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	<u>△309,800</u>	<u>79,200</u>
長期借入れによる収入	<u>1,000,000</u>	<u>—</u>
長期借入金の返済による支出	<u>△144,000</u>	<u>△200,000</u>
自己株式の取得による支出	<u>△1,418,912</u>	<u>△246,802</u>
配当金の支払額	<u>△289,260</u>	<u>△244,562</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,161,973</u>	<u>△612,165</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>1,770</u>	<u>△1,068</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△1,433,003</u>	<u>△588,420</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>5,387,766</u>	<u>4,491,767</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>3,954,762</u>	<u>3,903,347</u>

(追加情報)

(格満林(南京)実業有限公司の売上高計上等)

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社は、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理について再度、検討を行いました。この結果、格満林(南京)実業有限公司の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金の計上に関する証憑の一部が保管されていないことなどが判明しました。このため、同社に保管されていた試算表その他の帳簿等をもとに訂正報告書の四半期連結財務諸表を作成しております。なお、同社の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金は、四半期連結損益計算書及び四半期連結貸借対照表の中に以下のとおり含まれております。

<u>売上高</u>	<u>394,633千円</u>
<u>売上原価</u>	<u>487,435千円</u>
<u>売掛金</u>	<u>590,537千円</u>
<u>棚卸資産</u>	<u>244,370千円</u>
<u>貸倒引当金</u>	<u>△12,698千円</u>
<u>買掛金</u>	<u>60,946千円</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,620,410	<u>557,626</u>	<u>19,178,036</u>	—	<u>19,178,036</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	55,190	237,514	292,705	(292,705)	—
計	18,675,601	<u>795,141</u>	<u>19,470,742</u>	(292,705)	<u>19,178,036</u>
営業損失(△)	△697,014	<u>△72,301</u>	<u>△769,315</u>	2,364	<u>△766,951</u>

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,489,427	<u>468,313</u>	<u>16,957,740</u>	—	<u>16,957,740</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,060	206,787	221,847	(221,847)	—
計	16,504,487	<u>675,101</u>	<u>17,179,588</u>	(221,847)	<u>16,957,740</u>
営業損失(△)	△1,471,648	<u>△98,736</u>	<u>△1,570,384</u>	2,087	<u>△1,568,297</u>

③ 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	7,121,391	7,412,790	7,957,459	△1,481,525	21,010,116
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額					
剰余金の配当			△253,625		△253,625
四半期純損失			△3,305,049		△3,305,049
自己株式の取得				△246,802	△246,802
自己株式の消却 ※		—	△977,603	977,603	—
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額合計	—	—	△4,536,278	730,800	△3,805,478
当第3四半期連結会計期間末残高	7,121,391	7,412,790	3,421,181	△750,724	17,204,638

※ 平成21年5月に自己株式1,000,000株(977,603千円)を消却しました。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
ハイパーティション	8,967,182	77.2	3,221,788	91.4
ローパーティション	731,185	70.5	72,347	89.4
移動パーティション	1,073,487	83.0	839,041	109.8
トイレパーティション	2,496,718	92.8	1,513,179	107.4
クリーンルームパーティション	1,656,386	72.3	260,150	33.0
ドア製品	2,069,771	88.5	1,777,070	85.6
その他	1,063,449	105.9	232,720	136.3
合計	18,058,182	81.1	7,916,298	89.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ハイパーティション	8,531,131	79.9
ローパーティション	723,788	67.2
移動パーティション	902,354	100.7
トイレパーティション	1,953,359	96.5
クリーンルームパーティション	2,029,445	97.0
ドア製品	1,798,591	126.7
その他	1,019,070	102.1
合計	16,957,740	88.4

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。

【訂正前】

(財)財務会計基準審議会

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 名

上場会社名 コマニー株式会社

コード番号 7945 URL <http://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長 (氏名) 富樫 弘史

TEL 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,945	△11.6	△1,570	—	△1,468	—	△3,305	—
21年3月期第3四半期	19,167	—	△769	—	△950	—	△1,123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△352.99	—
21年3月期第3四半期	△109.70	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,468	17,133	67.3	1,882.86
21年3月期	29,332	20,927	71.3	2,224.34

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,133百万円 21年3月期 20,927百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
22年3月期	—	13.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△5.5	△900	—	△900	—	△2,900	—	△309.73

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	9,924,075株	21年3月期	10,924,075株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	824,201株	21年3月期	1,515,458株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	9,362,929株	21年3月期第3四半期	10,240,257株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・実績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年来の世界的な金融危機が及ぼした混乱が根強く、住宅投資や設備投資に回復の兆しが見られず、依然として厳しい経済環境が続いております。

間仕切業界につきましては、想定を上回る市場の縮小、販売価格の競争激化等、極めて厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が低迷しており、地域間の需要格差も一層の広がりをみせております。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適応する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。しかし、建築工事の需要減少等による市場縮小や競争激化は想定以上に厳しく、売上高は前年同四半期と比べ22億21百万円減少の169億45百万円となりました。

品目別売上高につきましては、主要品目のハイパーティションが最も市場縮小の影響を受け、前年同四半期と比べ21億42百万円減少の85億19百万円となりました。一方、ドア製品については、前年同四半期と比べ3億78百万円増加の17億98百万円となりました。

損益面では、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少に伴う利益の減少を吸収できず、売上総利益率は30.6%(前年同四半期比3.6ポイント低下)となりました。営業損失は15億70百万円(前年同四半期は営業損失7億69百万円)、経常損失は14億68百万円(前年同四半期は経常損失9億50百万円)、四半期純損失は繰延税金資産の取崩し等により33億5百万円(前年同四半期は四半期純損失11億23百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ38億63百万円減少の254億68百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ20億88百万円減少の146億33百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5億84百万円、受取手形及び売掛金が15億15百万円減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ17億74百万円減少の108億35百万円となりました。これは主に、繰延税金資産の取崩し等によります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ15百万円減少の36億66百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比べ54百万円減少の46億68百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ37億94百万円減少の171億33百万円となりました。これは主に、利益剰余金が45億36百万円、自己株式が7億30百万円、それぞれ減少したこと等によります。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ4.0ポイント低下の67.3%となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は38億61百万円で、前連結会計年度末と比べ5億84百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は3億39百万円となりました。これは主に、減価償却費7億17百万円、売上債権の減少額15億12百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失14億77百万円、たな卸資産の増加額4億6百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は3億10百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入11億円による増加と、定期預金の預入による支出11億円、有形固定資産の取得による支出1億56百万円等による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は6億12百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億円、自己株式の取得による支出2億46百万円、配当金の支払額2億44百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、今後も厳しい経済状況が予測されますが、第4四半期の完工予定物件を計画通りに納め、受注活動も一層の努力を行うとともに、原価及び販売管理費等の削減に全社一丸となつて引き続き取り組んでいくことから、現段階において平成21年10月21日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,861,543	5,445,880
受取手形及び売掛金	7,142,173	8,657,954
有価証券	99,954	99,884
商品及び製品	1,269,670	890,317
仕掛品	132,951	112,090
原材料及び貯蔵品	647,233	642,453
繰延税金資産	176,202	368,986
その他	356,173	553,457
貸倒引当金	△52,338	△48,484
流動資産合計	14,633,564	16,722,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,867,701	3,012,879
機械装置及び運搬具（純額）	1,391,182	1,549,249
土地	3,389,463	3,389,463
その他（純額）	201,023	246,370
有形固定資産合計	7,849,371	8,197,963
無形固定資産		
その他	854,573	991,024
無形固定資産合計	854,573	991,024
投資その他の資産		
その他	2,159,285	3,448,628
貸倒引当金	△28,000	△28,000
投資その他の資産合計	2,131,285	3,420,628
固定資産合計	10,835,230	12,609,616
資産合計	25,468,795	29,332,157

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,462,388	1,658,150
短期借入金	404,200	300,000
未払法人税等	118,783	45,100
賞与引当金	220,249	414,200
役員賞与引当金	1,478	2,520
その他	1,459,375	1,261,667
流動負債合計	3,666,474	3,681,638
固定負債		
長期借入金	1,400,000	1,625,000
再評価に係る繰延税金負債	434,747	434,747
退職給付引当金	2,496,780	2,358,146
その他	336,982	304,650
固定負債合計	4,668,511	4,722,544
負債合計	8,334,986	8,404,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	3,421,181	7,957,459
自己株式	△750,724	△1,481,525
株主資本合計	17,204,638	21,010,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,099	20,370
土地再評価差額金	226,788	226,788
為替換算調整勘定	△335,716	△329,299
評価・換算差額等合計	△70,828	△82,141
純資産合計	17,133,809	20,927,975
負債純資産合計	25,468,795	29,332,157

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,167,583	16,945,650
売上原価	12,604,588	11,763,574
売上総利益	6,562,995	5,182,075
販売費及び一般管理費	7,332,258	6,752,153
営業損失(△)	△769,263	△1,570,077
営業外収益		
受取利息	19,574	11,899
受取配当金	16,330	12,809
受取賃貸料	4,246	6,856
為替差益	—	11,735
デリバティブ評価益	—	99,538
その他	46,980	69,547
営業外収益合計	87,131	212,386
営業外費用		
支払利息	16,398	25,275
為替差損	6,291	—
売上割引	18,403	13,464
デリバティブ決済損	—	56,801
デリバティブ評価損	187,051	—
その他	40,505	15,034
営業外費用合計	268,650	110,575
経常損失(△)	△950,781	△1,468,266
特別損失		
固定資産除却損	7,068	8,994
投資有価証券評価損	158,452	185
特別損失合計	165,521	9,179
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,116,303	△1,477,445
法人税等	7,089	1,827,604
四半期純損失(△)	△1,123,392	△3,305,049

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△1,116,303</u>	<u>△1,477,445</u>
減価償却費	<u>755,684</u>	<u>717,266</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	<u>△4,375</u>	<u>138,634</u>
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	<u>△46,600</u>	<u>—</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△439,857</u>	<u>△193,951</u>
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△6,940</u>	<u>△1,042</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>9,887</u>	<u>3,961</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△35,904</u>	<u>△24,708</u>
支払利息	<u>16,398</u>	<u>25,275</u>
有形固定資産除却損	<u>7,068</u>	<u>8,994</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>2,443,494</u>	<u>1,512,325</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△878,744</u>	<u>△406,100</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>△471,293</u>	<u>△194,879</u>
その他	<u>222,067</u>	<u>155,592</u>
小計	<u>454,582</u>	<u>263,922</u>
利息及び配当金の受取額	<u>34,808</u>	<u>24,094</u>
利息の支払額	<u>△14,619</u>	<u>△21,973</u>
法人税等の支払額	<u>△344,465</u>	<u>△154,709</u>
法人税等の還付額	<u>—</u>	<u>228,062</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>130,305</u>	<u>339,398</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	<u>△1,100,000</u>	<u>△1,100,000</u>
定期預金の払戻による収入	<u>1,100,000</u>	<u>1,100,000</u>
有形固定資産の取得による支出	<u>△143,702</u>	<u>△156,824</u>
有形固定資産の売却による収入	<u>—</u>	<u>283</u>
その他	<u>△274,563</u>	<u>△154,098</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△418,266</u>	<u>△310,639</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	<u>△309,800</u>	<u>79,200</u>
長期借入れによる収入	<u>1,000,000</u>	<u>—</u>
長期借入金の返済による支出	<u>△144,000</u>	<u>△200,000</u>
自己株式の取得による支出	<u>△1,418,912</u>	<u>△246,802</u>
配当金の支払額	<u>△289,260</u>	<u>△244,562</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,161,973</u>	<u>△612,165</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>1,660</u>	<u>△860</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△1,448,273</u>	<u>△584,267</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>5,368,813</u>	<u>4,445,765</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>3,920,539</u>	<u>3,861,497</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,620,410	<u>547,173</u>	<u>19,167,583</u>	—	<u>19,167,583</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	55,190	237,514	292,705	(292,705)	—
計	18,675,601	<u>784,688</u>	<u>19,460,289</u>	(292,705)	<u>19,167,583</u>
営業損失(△)	△697,014	<u>△74,613</u>	<u>△771,627</u>	2,364	<u>△769,263</u>

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,489,427	<u>456,223</u>	<u>16,945,650</u>	—	<u>16,945,650</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15,060	206,787	221,847	(221,847)	—
計	16,504,487	<u>663,011</u>	<u>17,167,498</u>	(221,847)	<u>16,945,650</u>
営業損失(△)	△1,471,648	<u>△100,516</u>	<u>△1,572,164</u>	2,087	<u>△1,570,077</u>

③ 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	7,121,391	7,412,790	7,957,459	△1,481,525	21,010,116
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額					
剰余金の配当			△253,625		△253,625
四半期純損失			△3,305,049		△3,305,049
自己株式の取得				△246,802	△246,802
自己株式の消却 ※		—	△977,603	977,603	—
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額合計	—	—	△4,536,278	730,800	△3,805,478
当第3四半期連結会計期間末残高	7,121,391	7,412,790	3,421,181	△750,724	17,204,638

※ 平成21年5月に自己株式1,000,000株(977,603千円)を消却しました。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
ハイパーティション	8,964,319	77.3	3,212,330	91.3
ローパーティション	731,185	70.5	72,347	89.4
移動パーティション	1,073,487	83.0	839,041	109.8
トイレパーティション	2,496,718	92.8	1,513,179	107.4
クリーンルームパーティション	1,656,386	72.3	260,150	33.0
ドア製品	2,069,771	88.5	1,777,070	85.6
その他	1,063,449	105.9	232,720	136.3
合計	18,055,319	81.1	7,906,840	89.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ハイパーティション	8,519,041	79.9
ローパーティション	723,788	67.2
移動パーティション	902,354	100.7
トイレパーティション	1,953,359	96.5
クリーンルームパーティション	2,029,445	97.0
ドア製品	1,798,591	126.7
その他	1,019,070	102.1
合計	16,945,650	88.4

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。